



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2018年2月7日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約し、2月13日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

## サノフィ、見通しに沿った2017年度の1株当たり事業利益<sup>(1)</sup>を発表

	2017年度 第4四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER および CS <sup>(2)</sup> )	2017年度 通年	前年同期比	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER および CS <sup>(2)</sup> )
IFRS 純売上高 (為替調整前)	€8,691m	-2.0%	+4.1%	-1.6%	€35,055m	+3.6%	+5.6%	+0.5%
IFRS 純利益 (為替調整前)	€129m	-83.7%	-	-	€8,434m	+79.1%	-	-
IFRS 1株当たり純利益 (為替調整前)	€0.10	-83.9%	-	-	€6.71	+83.3%	-	-
事業純利益 <sup>(1)</sup>	€1,332m	-17.1%	-10.8%	-	€6,964m	-4.7%	-2.6%	-
1株当たり事業純利益 <sup>(1)</sup>	€1.06	-15.2%	-8.8%	-	€5.54	-2.5%	-0.4%	-

2017年度第4四半期および通年の業績には、ペーリンガーインゲルハイム社のコンシューマー・ヘルスケア(CHC)事業と、動物用医薬品事業の事業交換(2017年1月1日に完了)が反映されています。IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、動物用医薬品事業の2016年度業績および2017年の売却益は、別途報告されます。2017年度第4四半期および通年の損益計算書には、2016年12月末にメルク社とのサノフィパスツール MSD ジョイントベンチャー(SPMJD JV)が終了した後、サノフィのワクチンポートフォリオに関連して欧州業務の整理統合を行ったことも反映されています。

### 2017年度第4四半期の売上高は、予測された米国での糖尿病およびRenagel<sup>®</sup>の減少によってDupixent<sup>®</sup>(デュピクセント)の順調な発売が相殺されたことを反映

- 純売上高は、調整前2.0%減(CERベースで4.1%増<sup>(3)</sup>)の86億9,100万ユーロ。CERおよびCSベース<sup>(3)</sup>で純売上高は1.6%減
- 新しい免疫製品群の貢献を受けて、サノフィジェンザイムが堅調な売上高(16.8%増)を達成
- 受注時期の調整とDengvaxia<sup>®</sup>の影響を受けて、サノフィパスツールの売上高がCERおよびCSベースで1.2%増
- CHCの売上高がCERおよびCSベースで2.5%増
- 糖尿病および循環器GBUの売上高は、19.1%減
- 新興市場<sup>(4)</sup>の売上高は、医薬品事業の堅調な売上(CERおよびCSベースで4.0%増)を受けて、CERおよびCSベースで2.1%増

### 2017年度通年では、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、および新興市場の売上高の増加が糖尿病の売上高減少を十分に相殺

- 2017年度通年の純売上高は、調整前3.6%増(CERベースで5.6%増<sup>(2)</sup>)の350億5,500万ユーロ。CERおよびCSベースで純売上高は0.5%増
- サノフィジェンザイムの売上高は15.1%増の56億7,400万ユーロ、サノフィパスツールの売上高はCERおよびCSベースで8.3%増の51億100万ユーロ
- 新興市場の売上高は、中国の堅調な売上高(CERおよびCSベースで15.1%増)に支えられ、CERおよびCSベースで6.0%増
- 糖尿病および循環器GBUの売上高は、14.3%減の54億ユーロ

### 2017年度通年の1株当たり事業純利益の見通しを達成

- 2017年度第4四半期の1株当たり事業純利益<sup>(1)</sup>は、Dengvaxia<sup>®</sup>の財務影響(0.10ユーロ減)を含め、CERベースで8.8%減の1.06ユーロ
- 2017年度通年の1株当たり事業純利益<sup>(1)</sup>は、CERベースで0.4%減の5.54ユーロ、IFRS1株当たり純利益は、調整前で83.3%増の6.71ユーロ
- 2017年度末時点の純負債は、2016年度末時点の82億600万ユーロから52億2,900万ユーロに減少
- 取締役会は、前年度比2.4%増となる3.03ユーロの配当を提案
- 2017年度の事業純利益(BNI)の実効税率は、米国の税制改革による影響を受けなかった。2018年のBNIの実効税率は、主に米国の税制改革の結果、22%程度になる見込み<sup>(5)</sup>

## サノフィは、戦略的優先事項を推進

- スペシャルティケアの拡大と希少疾患領域でのリーダーシップ強化を目指し、Bioverativ 社<sup>(6)</sup>を 116 億ドルで買収予定
- 革新的な Nanobody<sup>®</sup>技術プラットフォームによる研究開発戦略の強化を目指し、Ablynx 社<sup>(6)</sup>を 39 億ユーロで買収予定
- cemiplimab および dupilumab の開発投資を加速および拡大するため、Regeneron 社と契約を締結
- コントロール不良の持続型喘息の成人および若年患者に関する生物学的製剤追加承認申請 (sBLA) を FDA に提出

## 2018 年度通年の財務見通し

- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2018 年度通年の 1 株当たり事業純利益<sup>(1)</sup>は、最近発表された買収から期待される寄与分を含め、CER ベースで 2%~5%<sup>(7)</sup>増と予測します。2017 年 12 月の平均レートを適用すると、2018 年度通年の 1 株当たり事業純利益への為替レート変動の影響は、-3%~4%と予測します

## サノフィ最高経営責任者 (CEO) のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「2017 年度は、引き続き戦略的目標を推進し、Dupixent<sup>®</sup> (デュピクセント) を順調に発売し、cemiplimab および喘息を対象とした dupilumab に関する肯定的なピボタルデータを発表しました。同時に、米国の糖尿病における課題に加え、Renvela<sup>®</sup>/Renagel<sup>®</sup> のジェネリック医薬品との競合と Dengvaxia<sup>®</sup> の影響に対処しました。最近、発表した一連の戦略的取引では、fitusiran の世界的権利を取得し、Bioverativ 社と Ablynx 社の買収を予定しています。これら取引により、サノフィは、希少血液疾患領域の新たなグローバルリーダーとしての地位を確立します。また、これら取引を通じてパイプラインをさらに強化し、革新的な Nanobody<sup>®</sup> 技術プラットフォームを獲得します。全体として、2015 年以降の重要な再編期間を経て、2018 年度の成長に向けた基盤を整えました」

(1) 当カンパニーの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP (一般会計原則) に調整を加えた財務指標です (定義は付録 10 (英語版プレスリリース) を参照)。2017 年度第 4 四半期および通年の連結損益計算書については付録 3 (英語版プレスリリース) に、IFRS 純利益 (為替調整前) から事業純利益への調整については付録 4 に記載しています。(2) CS (constant structure): グループ構成の変動要因を排除: BI CHC 事業、SPMSD 終了、その他について調整を実施 (3) 特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて (CER) 算出 (付録 10 (英語版プレスリリース) を参照) (4) 定義は 4 ページを参照 (5) 米国の税制改革に関する現在の理解に基づきます。(6) 買収の完了を条件とします。(7) 2017 年度通年の 1 株当たり事業純利益は 5.54 ユーロ

## 新規区分

2017 年度、サノフィは、2017 年 1 月 1 日に取得したベリンガーインゲルハイム社のコンシューマー・ヘルスケア事業の統合を進めました。統合プロセスの完了後、CHC 事業は、2017 年 12 月 31 日付で独自の業務区分となりました。さらに、サノフィは、2017 年度の組織構造の変更に伴い、管理報告システムを再編しました。その結果、グローバルファンクション (メディカルアフェアーズ、エクスターナルアフェアーズ、財務、人事、法務、情報ソリューションズ & テクノロジーズ、サノフィビジネスサービスなど) のコストは、「その他」項目に含まれています。ただし、前年度の比較情報については、必要な情報が入手できず、また複雑すぎて作成できないため、上記で説明した変化を反映するための修正表示は行っていません。2018 年度第 1 四半期業績のプレスリリースは、この新規区分に基づいて作成される予定です。サノフィの年次報告書 Form 20-F および Document de Référence には、2017 年度の情報が従来の基準 (前年同期比) と区分原則の両方に基づいて記載されます。

## 2018 年度における IFRS15 および IFRS9 の適用

現状の評価に基づき、サノフィは、2018 年に発効する新しい IFRS15 収益基準のもとで収益認識に重大な変更は生じないものと予測しています。サノフィは、修正表示した数値を 2018 年度第 1 四半期業績に関するプレビュー文書に記載する予定です。さらに、グループは、同じく 2018 年に発効する金融証書に関する新しい IFRS 基準である IFRS9 の採用によって、2017 年度の 1 株当たり事業純利益の重大な修正表示は生じないものと予測しています。

## 2017 年度第 4 四半期および通年のサノフィ売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して<sup>(8)</sup>算出しています。

2017 年度第 4 四半期におけるカンパニー売上高は、調整前ベースで 2.0% 減の 86 億 9,100 万ユーロでした。米ドルに加え、日本円、トルコ・リラ、および中国元の為替レートの変動により、6.1 ポイントの悪影響を受けました。カンパニー売上高は、BI CHC 事業の取得とサノフィの欧州ワクチン事業が全面的に連結対象になったことの恩恵を受け、CER ベースで 4.1% 増となりました。カンパニー売上高は、CER および CS ベースで 1.6% 減でした。

2017 年度通年におけるカンパニー売上高は、調整前ベースで 3.6% 増の 350 億 5,500 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、2.0 ポイントの悪影響を受けました。カンパニー売上高は、CER および CS ベースで 0.5% 増でした。

## グローバルビジネスユニット

以下の表は、グローバルビジネスユニット(GBU)別の売上高をまとめたものであり、サノフィの組織体制を示しています。この体制により、専門性を高め、レポートが簡略化され、成長の原動力に明確に注力できるようになります。新興市場におけるスペシャルティケア、糖尿病および循環器の売上高は、ジェネラルメディスンおよび新興市場 GBU に計上されます。

GBU 別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	2017 年度 通年	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)
サノフィジェンザイム(スペシャルティ ケア) <sup>(a)</sup>	1,466	+16.8%	+16.9%	5,674	+15.1%	+15.2%
糖尿病および循環器 <sup>(a)</sup>	1,297	-19.1%	-19.1%	5,400	-14.3%	-14.3%
ジェネラルメディスンおよび新興市 場 <sup>(b)</sup>	3,347	-2.3%	-2.7%	14,048	-1.0%	-1.3%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	1,196	+51.8%	+2.5%	4,832	+46.3%	+2.1%
医薬品合計	7,306	+3.3%	-2.1%	29,954	+4.2%	-0.8%
サノフィパズツール(ワクチン)	1,385	+8.7%	+1.2%	5,101	+14.5%	+8.3%
<b>純売上高合計</b>	<b>8,691</b>	<b>+4.1%</b>	<b>-1.6%</b>	<b>35,055</b>	<b>+5.6%</b>	<b>+0.5%</b>

(a) 新興市場の売上高は含まず一定義は 4 ページを参照 (b) 糖尿病および循環器とスペシャルティケアの新興市場の売上高を含む

## グローバル製品群

以下の表は、2017 年度第 4 四半期および通年のグローバル製品群別売上高をまとめたものであり、比較しやすいように新興市場における売上高を含めています。付録 1(英語版プレスリリース)に、GBU 別および製品群別の調整値をまとめました。

(8) 財務指標の定義は付録 10(英語版プレスリリース)を参照

\*CS:グループ構成の変動要因を排除:BI CHC 事業、SPMSD 終了、その他について調整を実施

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	先進国市場	前年同期比 (CER/CS*)	新興市場	前年同期比 (CER/CS*)
スペシャルティケア	1,714	+16.5%	+16.6%	1,466	+16.9%	248	+15.0%
糖尿病および循環器	1,663	-14.2%	-14.2%	1,297	-19.1%	366	+8.7%
エスタブリッシュ処方製品	2,298	-5.5%	-6.0%	1,397	-11.4%	901	+3.3%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	1,196	+51.8%	+2.5%	796	+4.1%	400	-0.5%
ジェネリック医薬品	435	-2.1%	-1.9%	252	-0.4%	183	-3.8%
ワクチン	1,385	+8.7%	+1.2%	914	+5.3%	471	-6.1%
<b>純売上高合計</b>	<b>8,691</b>	<b>+4.1%</b>	<b>-1.6%</b>	<b>6,122</b>	<b>-3.1%</b>	<b>2,569</b>	<b>+2.1%</b>

\*CS:グループ構成の変動要因を排除

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 通年	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	先進国市場	前年同期比 (CER/CS*)	新興市場	前年同期比 (CER/CS*)
スペシャルティケア	6,678	+14.5%	+14.6%	5,674	+15.2%	1,004	+11.3%
糖尿病および循環器	6,905	-9.6%	-9.6%	5,400	-14.3%	1,505	+11.6%
エスタブリッシュ処方製品	9,761	-3.4%	-3.8%	5,961	-8.8%	3,800	+4.8%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	4,832	+46.3%	+2.1%	3,216	+1.7%	1,616	+3.0%
ジェネリック医薬品	1,778	-3.3%	-3.1%	1,020	-3.6%	758	-2.4%
ワクチン	5,101	+14.5%	+8.3%	3,526	+8.6%	1,575	+7.6%
<b>純売上高合計</b>	<b>35,055</b>	<b>+5.6%</b>	<b>+0.5%</b>	<b>24,797</b>	<b>-1.7%</b>	<b>10,258</b>	<b>+6.0%</b>

\*CS:グループ構成の変動要因を排除

## 地域別カンパニー売上高

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	2017 年度 通年	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)
米国	2,851	-6.2%	-7.7%	11,855	-2.0%	-3.5%
新興市場 <sup>(a)</sup>	2,569	+6.3%	+2.1%	10,258	+9.7%	+6.0%
－中南米	756	+14.5%	+7.4%	2,837	+12.8%	+5.9%
－アジア(南アジア <sup>(b)</sup> を含む)	874	+5.1%	+3.0%	3,732	+10.3%	+8.7%
－アフリカおよび中東	582	-3.6%	-6.1%	2,326	+2.5%	-0.5%
－ユーラシア <sup>(c)</sup>	329	+11.2%	+3.1%	1,242	+18.3%	+12.6%
欧州 <sup>(d)</sup>	2,467	+15.8%	+3.7%	9,525	+10.2%	+0.7%
その他の国 <sup>(e)</sup>	804	+8.3%	-3.7%	3,417	+10.6%	-1.5%
－日本	416	+9.3%	-9.3%	1,803	+11.6%	-7.3%
<b>サノフィ売上高合計</b>	<b>8,691</b>	<b>+4.1%</b>	<b>-1.6%</b>	<b>35,055</b>	<b>+5.6%</b>	<b>+0.5%</b>

\*CS:グループ構成の変動要因を排除:BI CHC 事業、SPMSD 終了、その他に応じて調整

(a) 米国、カナダ、西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコを除く各国

(b) インド、バングラデシュ、スリランカ

(c) ロシア、ウクライナ、ジョージア、ベラルーシ、アルメニア、およびトルコ

(d) 西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)

(e) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

第 4 四半期における米国の売上高は、Dupixent<sup>®</sup>の業績によって、糖尿病の売上高減少(29.5%減)、および Renvela<sup>®</sup>/Renagel<sup>®</sup>のジェネリック医薬品との競合の影響が部分的に相殺され、6.2%減(CS ベースで 7.7%減)の 28 億 5,100 万ユーロとなりました。2017 年度通年における米国の売上高は、CS ベースで 3.5%減の 118 億 5,500 万ユーロでした。

第 4 四半期における新興市場の売上高は、ワクチンの売上高減少と CHC の一定の業績を受けて、6.3%増(CS ベースで 2.1%増)の 25 億 6,900 万ユーロとなりました。第 4 四半期におけるアジアの売上高は、中国の好業績(CS ベースで 14.2%増の 5 億 2,500 万ユーロ)がフィリピンにおける未使用の Dengvaxia<sup>®</sup>の買い戻しによって部分的に相殺され、5.1%増(CS ベースで 3.0%増)の 8 億 7,400 万ユーロとなりました。第 4 四半期における中南米の売上高は、ブラジル(CS ベースで 10.3%増の 2 億 6,000 万ユーロ)に牽引され、またエスタブリッシュ処方製品と希少疾患製品群に維持され、14.5%増(CS ベースで 7.4%増)の 7 億 5,600 万ユーロとなりました。第 4 四半期におけるユーラシア地域の売上高は、トルコ的大幅成長に支えられ、11.2%増(CS ベースで 3.1%増)の 3 億 2,900 万ユーロとなりました。第 4 四半期におけるロシアでの売上高は、CS ベースで 8.2%減の 1 億 7,400 万ユーロとなりました。アフリカおよび中東の売上高は、ワクチンの売上高減少の影響を受けて、3.6%減(モロッコの Maphar 社も除いた CS ベースで 2.5%減)の 5 億 8,200 万ユーロでした。2017 年度通年における新興市場の売上高は、CS ベースで 6.0%増の 102 億 5,800 万ユーロでした。

第 4 四半期における欧州の売上高は、ワクチン(CS ベースで 37.8%増)、希少疾患(12.3%増)、多発性硬化症製品群(17.8%増)によって、エスタブリッシュ処方製品の売上高減少(6.1%減)が相殺され、15.8%増(CS ベースで 3.7%増)の 24 億 6,700 万ユーロとなりました。2017 年度通年における欧州の売上高は、CS ベースで 0.7%増の 95 億 2,500 万ユーロでした。

第 4 四半期における日本の売上高は、9.3%増の 4 億 1,600 万ユーロとなりました。CS ベースでの日本の売上高は、Plavix<sup>®</sup>(プラビックス)におけるジェネリック医薬品との競合、Aprovel<sup>®</sup>/Avapro<sup>®</sup>およびワクチンの売上高減少の影響を受け、9.3%減となりました。2017 年度通年における日本の売上高は、CS ベースで 7.3%減の 18 億 300 万ユーロでした。

## 今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べる記述ではありません。これらの記述には、製品の販売その他の可能性や製品から将来的に収益を得られる可能性に関する予測と見積もりが含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、製品の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼす予期せぬ規制措置、遅延、あるいは政府規制、製品が商業的に成功するという保証の欠如、市販後を含む製品に関連する今後の臨床データおよび既存の臨床データの解析を含め、研究開発に付随する不確実性、予期せぬ安全性、品質、または製造の問題、競合全般、知的財産権やそれに関連した将来の訴訟、ならびにそのような訴訟の最終結果に関連するリスク、不安定な経済情勢、ならびにサノフィの 2016 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているリスクが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。